

借行社再興の父

志摩 篤 陸自57

塩田さんの突然のご逝去に深い悲しみを感じております。また、奥様はじめご家族の皆様にご心から哀悼の意を表します。

約15年前、借行社は存亡の分かれ目にありました。陸士の古い方は「後継者と思っていた防大出のOBは、自分達は後輩ではないと言っている。最早や借行社の後継者は居ない」として借行社の終了を決めようとなりました。ところが、決定の評議員会の席上で、若い期の人達によるクーデターが起こりました。借行社の続行を叫ばれたのは、塩田さん達でありました。

戦後、塩田さんは防衛官僚となり、確執が噂されていた内局と制服組との垣根を取り外すことに腐心されました。私の借行社への入会を勧めたのも塩田さんと陸士同期の村松さんでした。それまで、私は借行社に余り縁がなく、場所さへよく覚えていない程でした。借行社をよく知らない私を支えて頂いたのは塩田さんでした。「志摩いいぞ、その調子でやれ」とよく励ましてくださいました。未だ若い期だか

らと、反対が多いなか、理事長に推荐されたのも塩田さんでした。従前会員から陸自会員への引継ぎを行う事は塩田さんの使命感であり、後半生の生き甲斐であったのです。私の後、富澤、森と引き継がれる借行社の姿をみて、自らの務めは開花したと安心されたのではないのでしょうか。

昨冬、田中（正和）さんの車で、塩田さんを八王子の施設に見舞った時、塩田さんは私の手をしっかりと握り涙さえ流されました。車椅子でしたが、元気一杯でした。翌月の賀詞交換会に呼べと、盛んに田中さんに催促され、流石の田中さんも困っていました。今思えば、無理してでも賀詞交換会に連れて行くべきではなかったかと悔やまれます。

塩田さんは麻雀がすきでした。父島勤務時代も無聊を慰めるためによくやったと懐かしそうに話をされています。その割には余りお強い方ではありませんでした。家庭でよくやられていたのかお宅には一式揃って居ました。麻雀に関しては可愛いオジちゃんでした。

葬儀は家族葬で行われましたが、借行社に対する偉大なご功績、特に従前会員から元自会員への引継に半生の力を傾注されたご努力を想い、少しでも尊徳を偲ぶためにもお別れ会を借行社が計画しております。塩田さんはその

お人柄から、数多くの組織団体の方々も同じ想いをお持ちかとぞんじます。

皆様とご一緒に塩田さんの御霊の永遠に安らからんことをお祈りし、お別れをしましょう。

塩田前副理事長お別れの会

去る8月24日にご逝去されました。

偕行社前副理事長塩田章様（土59）お別れの会を、次の要領により開催致します。会員各位のご参列をお願い致します。

● 日時 11月17日（日）

11時30分～13時

● 会場 靖国会館 偕行の間

● 会費 5000円

ご参加の方は、御手数ですが、10月31日（木）までに事務局までご連絡下さい。